

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公表番号】特表 2007-502630 (P2007-502630A)
 【公表日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-006
 【出願番号】特願 2006-523490 (P2006-523490)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/16 (2006.01)

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/16

A 6 1 B 10/00 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 8 月 20 日 (2007.8.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

標準化タスクを用いて少なくとも一人の試験被験者の認知処理を検出するのに適した対照範囲を作成する方法であって、 - 対照被験者の集団において前記標準化タスクを完了するための時間の測定と、 - 前記対照被験者による前記タスクの実行中の時間的瞬き発生の測定と、 - 前記対照被験者に対する対照範囲の計算であって、該対照範囲は少なくとも前記対照被験者に対する前記標準化タスク内の共通フェーズ中の前記時間的瞬き発生から計算される、前記対照被験者に対する対照範囲の計算と、を含み、前記対照範囲からのずれは前記試験被験者が前記対照被験者と比べて変化した認知処理を有することを示唆する、方法。